

第3回市民まちづくり研究会 （開催記録）

「アイデア提案シート」

目次

検討成果の中間まとめ	1
Aグループ 人を大切にする街づくり	3
Bグループ 出かけたくなるまちづくり	19
Cグループ 地域力の活性化で安全・安心と環境を守るまちづくり	33
Dグループ 文化・芸術の薫るまちづくり	46

グループのテーマ

人を大切にする
まちづくり

例) 出かけたくなる

まちづくり

地域力の活性化で
安全・安心と環境を守るま
ちづくり

文化・芸術の
薫るまちづくり

課題

(キーワード)

市民活動
3あい
教育
施設
福祉
病院

- ◆ コミュニティ道路
- ◆ 歩道車道分離
- ◆ 交差点、交通安全装置
- ◆ (生活道路の)新設、拡幅
- ◆ 運行経路見直し、増設
- ◆ 東西路線の新設
- ◆ (歴史や街並みを)活かした街づくり
- ◆ 地産地消
- ◆ 人材育成

- ◆ 町内会活発化
- ◆ 地元でのお金を消費する
- ◆ 公共施設の活用
- ◆ 農業の活性化
- ◆ ゴミの分別の更なる充実
- ◆ 自然の保全
- ◆ 市民の防犯組織拡充
- ◆ 自主防災の活動啓発
- ◆ 防災・防犯の市民啓発
- ◆ 医療の質の更なる向上
- ◆ 生活道路充実、歩道・信号機設置
- ◆ 子育て支援強化
- ◆ 高齢者支援強化

- ◆ 自然や史跡が活かされていない
- ◆ 施設はあるが利用しづらい
- ◆ 文化事業は活発であるが、PR 不足で十分理解されていない
- ◆ 多文化共生に対する意識低い
- ◆ 小牧の文化を活かす方針がなく方向が定まっていない

解決策のアイデア

【 】は移動前

プロジェクト案

<p>みんなが気軽に出かけられるまちにしよう 障害のある人も地域で安心して暮らせるような社会に ひとり暮らし高齢者の孤独死を防ぐ 公共施設の割引又は無料化、通院用タクシー割引券 高齢者や障害者よ、街へ出よ！パレードしてみませんか？</p>	<p>ライフサポーター（地域生活おたすけマン） 福祉実践教室（障害があるって？どういうこと） 地区の会館に、インターネット端末を！ 「市民葬」とは何か、知ってほしい！</p>	<p>障害者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト</p>
<p>規律ある学校づくり 人を大切にする、人育て 外国籍の子どもに学習の場を！ 校則の見直しと厳守の姿勢を 地域3あい事業の充実・発展 次世代を育む地域コミュニティ連絡会の設置</p>	<p>小牧版「子ども憲章」の制定 地域における児童育成団体を作る【B】 人づくり【C】 人を大切にするまちづくり 不妊治療の補助 医療費の見なおし</p>	<p>学校モニター制度を考えるプロジェクト</p>
<p>人気ある店舗の誘致 一里塚プロジェクト 巨樹のまち小牧へー50年構想 市民カフェ、広場、図書館、会議室 エコマナーの導入、商店街の差別化、地産地消 イベントによる商業の活性化（ラビオ周辺） 駅西に「文化芸術会館を建設」（文化フォーラムの組成） 小牧駅西をどうにかする 小牧駅前開発促進と活性化 市民会館の改修工事</p>	<p>中心市街地の活性化【C】 まちの地域特性づくり【C】 こまきマナーの創設【C】 公共施設の活用【C】 交通網のループ状整備と商店街の集中 巡回バスの「路線変更と増発」 東西方向の電車路線の新設 歩車道分離帯道路等、工事の推進</p>	<p>行きたくなるまちなかプロジェクト バスの運行経路の見直しプロジェクト</p>
<p>安心安全なまちづくり 安心して暮らせる地域づくり 地域に組織されている自主防災会129団体・婦人消防クラブ86団体の活動啓発 犯罪多発都市小牧市の汚名返上【D】 危険な通学路(県道)にボタン式信号機の100%設置 行政の少数精鋭化と地区機能の充実と連携 全市125区の格差のない活性化 町内会の活用 地域のリーダーであります 区長制度の見直し 元気な高齢者、退職者の活用 あいさつのある明るいまちづくり 議員定数の減少【A】</p>	<p>ごみの無いきれいなまち ごみのないきれいな街 地域発電（エネルギーの自給力） 農業の活性化（食の自給力） 農地再生で食糧自給率（現在39%）を高める 農業の活性化【A】</p>	<p>安全安心のまちづくりプロジェクト 地域コミュニティプロジェクト 環境を守るまちづくりプロジェクト</p>
<p>小牧独自の(小牧らしい)文化芸術イベントの検討 文化事業は活発であるが、PR不足で十分理解されていない 方向が定まっていない(やりっぱなし) 小牧山の歴史シンポジウム 文化財めぐりウォーキング大会 小牧の文化を訪ねる巡回バスツアー 史跡・文化財など文化振興政策の強化推進【B】 自然及び歴史的な遺物・史跡の活用 文化芸術の振興状況検討会議の実施 文化・芸術団体を支援する仕組みの構築 名古屋造形芸術大学との連携(協働) メナード美術館との連携(協働) 真の文化薫るまちを目指して 小牧の素晴らしさを伝えよう！ 新しい図書館について考えよう！</p>	<p>多文化共生に対する意識が低い 外国人による料理教室 多文化共生セミナー・研究会の実施 外国人も含めた住みよい暮らしの実現 ネットワークの設定(小牧在住外国人のサポート) 区長セミナー・区長研究会の実施 地域デビューを支援する仕組みづくり</p>	<p>小牧市民全員で文化の再発見・創生・伝承プロジェクト 小牧は一つ 地域家族プロジェクト</p>

< A グループ > グループテーマ：人を大切にする街づくり

A：

1	提案タイトル	みんなが気軽に出かけられるまちにしよう
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、障害や高齢のため車椅子を使用している人は、タクシー料金の割引、タクシー券の交付をされているが、利用にあたって一定の制限があるため気軽に利用することはできない。みんなが気軽に出かけられる体制をつくること人が大切にする街づくりの一助となる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車椅子ごと乗車できる車で、事前に募集した会員の移送サービスを、NPO法人が行い、市は助成金を出す。会員は年会費をNPO法人に支払う。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人が運転ボランティアを募集し、市の助成した車で利用者（会員）を、利用者の希望する場所へ移送する。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人 ・ 小牧市又は社会福祉協議会
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人の運営、運転ボランティアへの登録
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人への助成、バリアフリーのまちづくり
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人への助成
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低廉な料金で利用できるようになるため障害や高齢の人も気軽に外出できるまちになる。

A :

1	提案タイトル	障害のある人も地域で安心して暮らせるような社会に
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市でも障害福祉計画を策定し、その実現に向け推進しているが、近年ストレス社会の影響からか精神障害のある人が急増している。 ・ また国も社会的入院のため長期入院となっている精神障害のある人で退院可能な人の早期退院を目指している。精神障害のある人が地域で暮らせる社会を目指す。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な自立訓練や居住の場としてのグループホームの充実を図る。また、障害のある人の自立と社会参加を阻んでいるのは、地域住民、企業などの知識不足や無理解からくる心のバリアとも言えるので、ノーマライゼーション理念の普及を図る必要がある。

A :

1	提案タイトル	ひとり暮らし高齢者の孤独死を防ぐ
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし高齢者については、介護を受けている人についてはヘルパーが、介護を受けていない人については地域の民生委員を通じて申請した場合のみヘルパー、緊急通報システムなどで安否を確認できるが、サービスを希望されない高齢者もいるため、孤独死となる可能性がある。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の緊急通報システムの自己負担額をなくし、また全ひとり暮らし高齢者宅に備える。 ・ また、ヘルパー派遣も時間の限りがあるため、市民ボランティアによる巡回を行い、地域でひとり暮らし高齢者を見守る体制づくりを行う。

A :

1	提案タイトル	公共施設の割引又は無料化 通院用タクシー割引券
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生き甲斐 ・ 健康保持
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉プール、小牧城、メナード美術館の割引又は無料化 ・ (犬山市は犬山城・どんでん館、文化資料館無料) ・ (春日井市は施設利用券を交付し、タクシーの通院時割引(1回600円を6枚交付))
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用券を発行(申請により) ・ 対象者(高齢者概ね65才以上)の決定 ・ 市民にPR
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春日井、犬山市役所
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生き甲斐と医療費の減少

A :

1	提案タイトル	高齢者や障害者よ、街へ出よ！パレードしてみませんか？
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ その存在を積極的に示すことにより、その問題への関心を高め、理解を深めてもらうため。 ・ 限られた空間（自宅や施設）から外へ。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな市民行事（活動）に、より多く（可能な形で）参加する。 ・ 自らの意見を訴える場を。
4	実施の方法 (どのように)	<p>独自（団体）のパレードを主催 市民まつりパレードへの参加</p>
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記 と で異なる。
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・

A :

1	提案タイトル	ライフサポーター（地域生活おたすけマン）
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で高齢者、障害者、子育て世代など手助けを必要とする人、地域の連携も。 ・ 行政サービスは受けるのが難しい。お金のある人は自分で人を雇うことができるけれど、お金のない人たち（若い世代など）にも支援を広く行う。 ・ 福祉に対する啓発活動にもつながる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの相手からお年寄りの話し相手や家の掃除（高齢者）の手伝い。買物の手伝い。生活全般について。主におたすけマンを育成し、それぞれの支援内容にあわせて行う。例）ヘルパーを頼むことのできない方への支援。布団を干すなど。障害者の外出介助・買物介助・病院付き添い。家族の体調不良時。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファミリーサポートの生活密着型。 ・ ファミリーサポートはボランティアと利用者をつなぐまでを行っているが、その部分も市民団体で。対象は市民全員。実費だけを負担。基本はボランティア。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいセンターやファミリーサポートなどの拠点が必要。（2004・ひだまりの会からも参画できます）参画団体を募る。
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアを募り、教育（それぞれの活動に合わせて） ・ ボランティア参加 ・ コーディネート
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金の提供（本来なら行政にやっていただきたい）
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンターに市民からコーディネーターを出し、ボランティアをコーディネートする。行政は、資金と場所、広報活動。利用者の安心感。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安心感と地域の連携の深まり。子育て支援。

A :

1	提案タイトル	福祉実践教室（障害があるって？ということ）
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、小中学校で社協がボランティアを講師として行っている講座について、内容をもう少し実生活にそったものとし、小・中・高生のうちから障害者、高齢者、社会的弱者に対するの偏見を取り除き、ボランティアとして活動することのすばらしさを保護者も巻き込んで行うことにより、地域生活へも（地域活動）参加を促し、ボランティアの年齢の若返りを。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のものよりももう少し深く学習をし、実際に活動してみる。 ・ 小学生向けの夏休みの講座のようなものを学校単位で行う。 ・ 一色小学校以外の学校も小牧養護の生徒とふれあうなど、高齢者の施設ばかりに訪問するのではなく幅を広げる。小1から少しずつ進めていく。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車イスの動かし方、手話、点字、いろいろ体験しているので、(子どもたち)保護者をまき込み、車イスに親(大人)を乗せて体験、学校から近い所に買い物へ行ってみるなど。 ・ アイマスクをして給食を一緒に食べる。(子どもが大人を手引き) ・ 3あい事業の活用も。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校・市・各ボランティア団体
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ボランティア団体(ガイドヘルプさん、お手だまさんなど)
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課との連携・社会福祉協議会
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉についての理解が深まる。

手引きというのは歩行のときなどに、テーブルの上に何があるということを教えることをさしています。(お茶はテーブルの右上など)

A :

1	提案タイトル	地区の会館に、インターネット端末を！
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長...市の担当課との連絡を効率的にするため。(ペーパーレス) ・ 区民...気軽に利用して多様な情報を得るため。(終日オープン)
3	内容 (どんなことを)	・

A :

1	提案タイトル	「市民葬」とは何か、知ってほしい！
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺族の経済的負担を軽減するため。 ・ さまざまな葬儀の形、密葬・家族葬・直葬。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市などの自治体が葬儀社と協定を結び、低価格でできる葬儀セットである。(ここ5年間で、市内の葬儀社は2社から5社へ増加した)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (この制度自体が東京中心の普及で、東海地方では認知されていないのではないか。)

A :

1	提案タイトル	規律ある学校づくり
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いた環境で通常の学校生活が送れること。 ・ 学校は各校の教育目標に向けて教育活動を遂行し、その活動に責任を持つ。 ・ 基本的な生活習慣の確立と授業規律の確立。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の指導力向上と授業評価制度の導入（指導力不足教員の対応） ・ 教職員の増員（教員は忙しすぎる。「ゆとり」の見直しと学力の復活） ・ 急速な情報化に対応できる職員の配置（危機管理に即応（二セメール等のいじめ）できることと、各校ホームページに（+）面だけでなく、問題点など（-）面も記述する） ・ 保護者・地域への協力要請と不当要求に屈しない毅然とした対応のできる管理職が必要。

A :

1	提案タイトル	人を大切にする、人育て
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者（児）に対応できるボランティアを育てる。 ・ 子育て支援（小中学生くらいまで）のNPOをする人を育てる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動支援センターと話して、助言等してもらう。 ・ 定年退職者（年金生活者）等の参加を呼びかける。 ・ 子育て中の方の情報交換しやすい場をつくる。

A :

1	提案タイトル	外国籍の子どもに学習の場を！
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 公立学校で日本語を習得するのでもなく、私立学校で母国語で勉強するのでもない。「ノーリンガル」な子どもをなくすため。・ 親の選択、学費の高さ、不登校から非行へ。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・

A :

1	提案タイトル	校則の見直しと厳守の姿勢を
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・

A :

1	提案タイトル	地域3 あい事業の充実・発展
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの基は人づくり。人づくりの基は次世代育て。発展し続ける小牧にとって「次世代の心育て」は必須のもの。 地域に愛着心を持った子を育てる 地域が関わる中で、社会性や規範意識を身につける 次世代を核とした地域の絆づくり。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成に重きを置いた3 あい事業の展開 小学生だけではなく、幼児、中学生も関わる活動 次世代の心そだてを踏まえた事業内容 (子どもの交流活動が、公民館活動に包含されてから、次世代に対する取り組みが弱くなった?)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市全域への普及 実施困難な地域では、隣接区や市民活動団体との協働 地域連携の見直し(充実、発展しているか) 子ども会・地域教育機関との連携・協働の強化 (子ども会活動が衰退し、このままでは消滅する) 指導者・お世話役の資質向上(取り組まれているか)
5	実施主体 ・ 参画団体	・
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
7	連携方法	・
8	期待される 成果	・

A :

1	提案タイトル	次世代を育む地域コミュニティ連絡会の設置
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧の将来を託す次世代の育成を地域ぐるみで支援する
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ連絡会の設置 (地域の教育・保育機関、地域団体、地域企業が次世代の心育てを支援するため、情報交流の場をつくり、課題を共有して、無理のない範囲で協力し合う。)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区単位の連絡会の運用 年複数回の情報交流の場を設け、次世代育成に係る地域課題を共有し、協力し合うための話し合いの場とする。 地域全体で取り組めることを考える場とする。 <p>[例] 地域あげての挨拶運動や清掃活動、地域全体への情報配布や回覧、地域全体に関係する行事の通知・案内などの情報交流を通じて地域力を高める。</p>
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 中学校:連絡会会長 事務局:中学校 教育・保育機関:幼稚園・保育園・小・中学校 地域団体:区長会代表・市民・ボランティア団体代表 地域企業:大規模事業所・商工会議所地域代表
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・

A :

1	提案タイトル	小牧版「子ども憲章」の制定
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人格(人間らしさ)と、よりよき生活習慣形成の基本項目を共有化し、関係者が連携・協働して次世代の育成にあたる。
3	内容 (どんなことを)	<p>〔小牧版〕美しい心を育てる 子ども憲章12ヶ条(案)</p> <p>1 おはよう、ありがとう、ごめんなさいを言いましょう…… 礼節の土台をつくる</p> <p>2 人には親切にしましょう…… 思いやりの心を育てる</p> <p>3 親や先生の言いつけをよく守りましょう…… 素直な心を育てる</p> <p>4 弱いものいじめをしない…… 思いやりの心を育てる</p> <p>5 人の悪口を言わない…… 人から嫌われない態度を養う</p> <p>6 うそを言わない…… 信頼の土台を大切にする</p> <p>7 身の周りはいつも清潔にしましょう…… 清潔を心がける習慣を養う</p> <p>8 ルールを守りましょう…… 規範意識・公共心を身につける</p> <p>9 約束を守りましょう…… 信頼の柱を大切にする</p> <p>10 よく辛抱しましょう…… 忍耐力を養う</p> <p>11 ものを大切にしましょう…… 資源を無駄にしない生活態度を養う</p> <p>12 生きものを可愛がりましょう…… 生あるものを思いやる心を育てる</p> <p>(順不同)</p>
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教えるべきことを明文化して、いつでもどこでも実践できること 小牧市の教育リーダーが集まって憲章を定め、実践方法を決める 子どもにもわかり、馴染みやすい表現とする 教育の場で実践 家庭に広める 地域に広める
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
7	連携方法	<p>学校(園)では、先生の指導のもとに朝に唱和、夕に反省</p> <p>家庭においては親が垂範する</p> <p>地域においては項目1、項目8を垂範し、他の項目は都度教える</p>
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・

A :

1	提案タイトル	地域における児童育成団体を作る
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童時に私公内でのしつけをし、健全な児童の育成を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化（伝統）活動と子どもと母親も交えた交流。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にNPOを育成する。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市及び区、NPO団体
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政的支援と相談
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の健全な育成と犯罪防止

A :

1	提案タイトル	人づくり					
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化と教育水準の低下により、少子に向けたシステムづくり ・ 教育と医療福祉の充実 					
3	内容 (どんなことを)	子の教育（義務教育の強化、職人育成、高度な高等教育）	大人の教育	老人の活用	教育方法の世代間交流	医療の充実（新技術による遠隔治療体制、各地のトレーニングセンター）	新技術による手助け
4	実施の方法 (どのように)	高度技術知識獲得 エリート教育 国際対応 日本文化・歴史・伝統の伝承	親業 社会人大学 市民学習と研究会	技術の伝承 農業の伝承 文化歴史伝統の伝承	互いに世代間で交流しながら教えあう	子どもの医療費無料化 医師の確保と他地域との連携 先端医療推進と予防医学と健康管理普及 スポーツ奨励	ロボット技術（生態模倣技術）
5	実施主体 ・ 参画団体	学校、教育委員会、企業、地域	大学、企業、保険センター	地域住民 ボランティア 市民団体	学校、地域	市民病院、保健センター、スポーツ協会	福祉・医療・介護関係
6	市民の役割	地域の文化伝承のお手伝い		積極的参加 講師登録		健康確保とスポーツの積極的取り組み	気軽に活用
	行政の役割	コーディネート 学校誘致		コーディネート 企画運営		他市との連携 実施団体との連携	施設に積極的に導入
7	連携方法	行政のコーディネーション					企業、大学と協働
8	期待される成果	地域の活性化				子どもが増える 医療費がかからない	少数のカバー

A :

1	提案タイトル	人を大切にするまちづくり
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市約50年の歴史の中で、前進しつつある現状には大まかに言って満足しているけれども、世間全般的に豊かになるほど逆に後退しているように感じる問題もある。今回の委員の方は単一的、具体的に指摘しているが、できれば、総括的に改善の出来る解決の方法を模索してみたい。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 委員の方々の単発的な具体的な指摘の問題点は何故起きるのか。例えば、障害者に関する問題は指摘する方と受け止める側との間に距離がありすぎて認識が十分に出来ない。経験のない側の人に問題を判らせるにはどのような方法があるのだろうか。また実現の難しい問題を前進的にするにはどうすればよいかなど順序よく考える必要がある。 教育に関する問題についても同じ。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 大別して施設などハードの部分は市民個人ではどうすることもできないし、一方運用面のことは市民と運用関係者で工夫すれば出来ることである。何事も人のかかわることであり、経費の要ることであり、予算(市民の税負担)のこともあり、順序に優先もある。ビジョン・方針・成果の問題でもある。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 何事をするにも重要なのは人であり、それらの組織であるので、出来る限り適材適所に重点的配置を考えて、プロジェクトチームのような運用をし、配置転換も適宜行う。 情報収集のためには、モニター制やオンブズマン制も採用する。
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ多忙であるが、小牧市には多様な暇人もいると思うので、ボランティアなど大いに活用すべき。
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 予算(税金)、土地建物、公平・配分、問題対処などは行政の役割大であり、特に長期ビジョン・実行は大事である。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 行政優先主導や市民優先(ゴネ徳)でなく、臨機応変にプロジェクト優先で考えるべき。(天下り人事は極力避けるべき。)
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 成果は定期的に明らかにし、的確に判断すべきで、計画には過去の決定にも責任を負うべきである。(ピーチライナーの轍は踏まない)

A :

1	提案タイトル	不妊治療の補助
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 治療費がかかりすぎる。少子化が進んでいる。・ 何度も治療を試みている人が多いが、実現がされない人があると聞く。・ 高い治療費がかかるため、あきらめている人もいる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・ 子どもを望んでいる人が多数いると思う。そのための補助を是非実現させたい。

A :

1	提案タイトル	医療費の見なおし
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 現在小学3年生まで無料化と聞いています。小学生はいろんな病気の可能性を持っているため、小学6年生までに実現してほしい。高齢者にも無料化。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・ 全ての病気に対して無料化。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none">・ 保険証とカードを持参して診てもらう。

< B グループ > グループテーマ : (仮) 出かけたくなるまちづくり

B :

1	提案タイトル	人気ある店舗の誘致
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ とにかく中心市街地に人を集める。 ・ 滞在時間を長くする。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ カフェ、ファミリーレストラン、居酒屋

B :

1	提案タイトル	一里塚プロジェクト 巨樹のまち小牧へー50年構想
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて楽しいまち、休憩所 ・ まちのシンボル ・ 特に小牧駅から小牧山に向かうメインストリート沿いには、点々と設置する。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道・自転車道の主要交差点に、その地域のシンボルツリーとなる木を植える。 ・ ベンチを設け、休憩スペースとする。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道ネットワークの各所に設ける。 ・ 小牧駅～小牧山のメインストリート沿い。
5	実施主体 ・ 参画団体	・
6	市民の役割	・ 管理、各地区住民で分担して管理
	行政の役割	・ 施工、管理費
7	連携方法	・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩所となり、歩くのが楽しくなる。 ・ 小牧山への誘導。 ・ 人を見かけるようになり、にぎわい効果。

B :

1	提案タイトル	市民カフェ、広場、図書館、会議室
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 市民掲示板 市役所、市民会館よりもやわらかい雰囲気づくり 自由な意見交換の場・ 外国人との交流 お国自慢、ふるさと紹介
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・

B :

1	提案タイトル	エコマネーの導入、商店街の差別化、地産地消
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地商店街の活性化・ 環境活動の活発化
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地商店及び店舗への愛着

B :

1	提案タイトル	イベントによる商業の活性化（ラピオ周辺） 出かけたくなる町 行きたくなる町
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市の知名度を知ってもらう ・ 地域の商店の活性化 ・ シルバーの活用 ・ 農家の生産性をあげる
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリーマーケット、農産物販売、パフォーマンス、路上ライブ、ダンス
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第1、第3日曜日 午後1時～4時の間 歩行者天国にする
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定着すれば商店出店者が少しでもうるおう。 ・ 大勢の人々が集まりにぎやかになる。

B :

1	提案タイトル	<p>中心市街地の活性化 駅西に「文化芸術会館を建設」(文化フォーラムの組成)</p>
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの充実(文化を通じた人づくり、街づくり) ・ 文化芸術は街をつくるコミュニケーションの礎である。 ・ 「物ではなく、心の豊かさ」重視の街づくり ・ 小牧駅を市内最大集客スペースとするため
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅西に小牧文化芸術会館を建設(小牧芸術文化フォーラムの組成) ・ 施設の一角に住民コーナー(朝市、フリーマーケットなど併設) ・ 住民参加型重視で各種企画
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧芸術文化フォーラムを組成し会員を募集・・・鑑賞するに留まらず、市民参画型の文化事業の促進(組織は法人化) ・ 事業・・・舞台芸術、市民創造、各地の文化交流、広報活動
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市小牧駅前活性化推進室&文化振興課 ・ 文化フォーラム(法人の設立)・・・仮称「小牧芸術文化協会」 ・ 地域コミュニティ
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民グループ&個人による参画並びに参加 ・ 地域コミュニティ
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた演劇、音楽など芸術文化を通じて地域文化の創造と発展が期待でき、住民の心が豊かになる。 ・ 住民コーナー併設による住民参加型と文化芸術会館目当てに集客大。 ・ 魅力に欠ける小牧駅前が活気であふれ、毎日出掛けたくなり、自慢できるわが街となる。

B :

1	提案タイトル	<p>中心市街地の活性化 小牧駅西をどうにかする</p>
2	<p>目的 (何のために)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般にいう「住居併設複合商業施設」としては、面積規模が小規模また現状の小牧の交通基盤ではキーテナント等、事業のスポンサーの出現は期待薄と思われる。 ・ ショッピング狙いの集客は困難か。二次的発生として買い物客も増加するというような企画にするか。 ・ とりあえず、素人の発想で「芸術文化会館の建設」を掲げてみたが、やはり説得力に欠ける。 ・ 商業・福祉・文化・教育などなど、発想の転換。 ・ 市民の意見、パブリックコメントなど素人発想では限界。ここは、専門家のプロポーザルを聞いてみたい。
3	<p>内容 (どんなことを)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧駅西地区の都市開発事業として、広く民間からプロポーザルの募集 ・ 現状の面積規模と中心市街地という状況に鑑み、集客第一に文字通り「魅力ある施設の建設」というテーマで、広くプロポーザルを求めては、如何でしょうか。
4	<p>実施の方法 (どのように)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・
5	<p>実施主体 ・ 参画団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・
6	<p>市民の役割 ・ 行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
7	<p>連携方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	<p>期待される 成果</p>	

B :

1	提案タイトル	小牧駅前開発促進と活性化について
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の核となる再開発ビルを建設して、人々が集う施設、市民が利活用する施設、学ぶ場所、集合住宅、オフィス、貸会議室、展示室等を設置する
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々が集う施設、市民会館をつくる ・ 市民が利活用する施設、図書館をつくる ・ 大学院(近郊にある工場、研究所の職員を対象にした夜間制)を誘致する ・ オフィスをつくる ・ 集合住宅(都市型住宅SOHO、都心定住促進策)をつくる ・ 貸展示室、貸会議室をつくる
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再開発事業業務代行方式
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計事務所、建設会社、金融機関(銀行、生保、損保、証券)、学校(大学院、専門学校)、市民会館・図書館運営会社、商社、民間団体、(独)都市再生機構、小牧市、地権者
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・教養に対して積極的に参加を意識し、潤いのある生活をめざす
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民生活の充実と文化・教養の拡充による豊かさの確立に努める
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施主体、参画団体と再開発事業業務代行方式により遂行する
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が集い、利活用することにより賑わいが生まれ民間が周辺に張付き、街が活性化する

B :

1	提案タイトル	中心市街地の活性化 市民会館の改修工事
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの充実（文化を通じた人づくり、街づくり） ・ 文化芸術は街をつくるコミュニケーションの礎である ・ 市民の「心の豊かさ」重視の街の活気
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台の拡張と音響効果のアップ
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最前の客席数列をつぶし、舞台化して広める ・ あわせて音響効果工事を再度実施
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市文化振興課 ・ 芸術文化フォーラム
6	市民の役割	・
	行政の役割	・
7	連携方法	・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会館施設の利用範囲が拡大される。 ・ 著名な指揮者、楽団のコンサートが勧誘できる（現状では、舞台も狭く、音響効果が悪く難色を示される） ・ 高度な音楽鑑賞が容易となり市民心豊かな文化レベルが高まる

B :

1	提案タイトル	中心市街地の活性化
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化 ・ 街の中心に行きたくくなるような魅力あるまちづくり
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の整備（統一感のあるおしゃれなデザインのまちなみ、アーケード、歩行者、自転車専用道路整備） ・ 魅力ある店舗の誘致 ・ 市民団体、NPO等に安価に店舗貸出
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市がまちなみ整備
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客として利用 ・ 店舗に出店
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの景観を含めた整備を行う
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元小牧で消費活動を活性化させる ・ 市民活動の拠点を提供

B :

1	提案タイトル	まちの地域特性づくり
2	目的 (何のために)	・ まちの活性化
3	内容 (どんなことを)	・ 中心街（楽市楽座の構築、行政の拠点）(観光化...歴史を大事にして史跡の整備) ・ 各地域の1特性運動
4	実施の方法 (どのように)	・ 各地域で考える ・ 市で大きな構想を打ち立てた中での検討
5	実施主体 ・ 参画団体	・ 地域、市
6	市民の役割	・ 企画、運営
	行政の役割	・ 企画、コーディネーション
7	連携方法	・ 行政のコーディネーション
8	期待される 成果	・ 地域の活性化（自立）

B :

1	提案タイトル	こまきマネーの創設
2	目的 (何のために)	・ 地元商業の活性化を目指し、地元にお金を落としてもらい、地元で還元してもらおう
3	内容 (どんなことを)	・ 地元商店で買い物をした際に、地元商店でのみ使うことができる「こまきエコマネー」を発行し、次回からも地元にお金を落としてもらい、お金を還元させる。

B :

1	提案タイトル	公共施設の活用
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 立派な体育、文化施設がありながら運用方法に問題があり、ゆうゆう学級、スポーツ大学等に入り初めて施設を利用したが宝の持ち腐れの感がある。 老いも若きも活用できる施設で市民の体育、文化の向上を図り、また、市民病院の有るべき姿を市民と共に問い直す時代に入った。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 本来市民が随時平等に利用できる施設が一部の健康な人達や、他の市町村の人達に利用され、小牧市民とりわけ幼児、高齢者、家庭の主婦、障害者等が気軽に利用出来ない。 市民病院は救急車の利用軽減に努める市民の医療が優先されず、他の市町村の救急搬入が優先され市民病院の目的が害されている。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 他の市町村民の利用には高額の利用料金を課す。 小牧市民の利用には割引、事前予約制度の導入。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 各施設管理者の再教育。
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用時のアンケートの提出。 全てのアンケートの公開。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 各施設による市民との意見交換。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 市民がありがたいと言える施設運営。

B :

1	提案タイトル	交通網のループ状整備と商店街の集中
2	目的 (何のために)	・ 通勤、通学だけでなく、買い物にもバスを利用。
3	内容 (どんなことを)	・ 何でも買い物ができる所を集中的につくる。
4	実施の方法 (どのように)	・ バスの運行をループ状にする。各拠点を回る。

B :

1	提案タイトル	公共交通機関 巡回バスの「路線変更と増発」
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービスの向上 ・ 公共交通の充実 ・ 利用者の拡大 ・ 福祉充実の一環
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状バス路線の変更と増発(環状・放射)
4	実施の方法 (どのように)	<p><基本路線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内六方位から小牧駅への直線的路線を新設する。 (市東西のそれぞれ3地点(南・中・北)と小牧駅を往復する路線) 公共施設(市民病院・市役所・アリーナ・市民会館)へは、小牧駅からシャトル方式で運行する。(毎時6本程度) ・ 市内環状線を運行、名鉄駅クロスも考慮する(間内・味岡・西春・江南等) ・ 実施に先駆け、住民アンケートを実施し詳細な路線等を固める。 <p>1月実施のアンケート…バス利用者&住民から実施、住民は住基台帳から無作為に抽出とあるが、地域毎の特性の反映はどう理解？ また住民アンケート項目一例「利用しない-79%」何故利用しない、便利な地域？等、次なる項目が欠落している、大変残念である。失礼ながら、このアンケートの分析結果を重視して改正案が作成されると、いささか疑問も生じます。</p>
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の小牧市主体バス協会？ 小牧市社会福祉協議会？ ・ 地域コミュニティ(利用状況のフィードバックを受け、利用PR)
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティを中心に意見交換(意向尊重など)協力体制 ・ 公共施設へは、極力マイカーを使わない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が利用しやすいダイヤと路線を工夫し、運行収支のみに拘らず福祉事業的観点もあわせた事業とする。 ・ 現状の倍額、1億円程度を福祉事業的観点助成金扱いと恒常計上。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市内の地域コミュニティと定例的な意見交換
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名鉄小牧駅を基点に集客され、中心市街地が活性化・活気あふれる。駅西再開発プランが多様化する ・ 市民病院駐車場・整備員確保が容易となり、あわせて騒音公害防止の一助となる

B :

1	提案タイトル	公共交通機関 東西方向の電車路線の新設
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の基盤整備(産業基盤の強みの堅持) 東西に位置する工業地帯へのアクセスは、極めて不便。強力といわれる産業基盤を将来も維持するには東西の交通基盤を今整備しなければ、小牧産業の衰退は明白。先行投資を。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> J R 春日井駅と小牧駅と名鉄江南駅 or J R 一宮駅を鉄道で結ぶ
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 全線高架鉄道 or 地下鉄
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な一大プロジェクトであり、連携構想を前提として、小牧市・春日井市・江南市・一宮市など、連携した第三セクター(国家補助は、桃花台交通の債務表面化、逆効果か?)
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none">
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none">
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な交通基盤整備により、産業面に留まらず広い分野で多人数が行き交う街となり、活気ある小牧が将来的にも期待できる。魅力が増す。

B :

1	提案タイトル	生活道路の整備 歩車道分離帯道路等、工事の推進
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の交通安全確保 ・ 交通事故件数の削減 ・ 環境保護(CO2 の削減)
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員 6 m以上の市内道路は、原則的に歩車道を区分する ・ 遊歩道、自転車道を所々に設ける。(コミュニティ道路の設置) ・ 交差点整備(右折路線の設定)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在市内の 6 m以上道路の実態調査 ・ 危険度の高いところ優先に実施 ・ 3ヶ年計画調査、実施完了を目指す。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市道路課、都市整備課、環境政策課
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ歩車道区分の要望提出 ・ 自転車利用の促進 ・ 交差点整備関係地主の理解と協力
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路課、都市整備課
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々が安心して出かけられる。 ・ 自家用車外出を控え自転車利用の行動範囲が広まるため、環境保護の一助となる。 ・ 交差点の整備により、交通渋滞の改善の一助と期待できる。

< C グループ >

グループテーマ：地域力の活性化で安全・安心と環境を守るまちづくり

C：

1	提案タイトル	安心安全なまちづくり
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格差社会において犯罪多発 ・ 災害の多発防止
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯の体制づくり ・ 防災体制の構築（市民、要援護者、ボランティア対応）
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教室（小学～高校、老人） ・ 見守り隊 ・ 道路整備（歩道、自転車用整備） ・ 交通規則の条例化 ・ 公共バス活性化 ・ いけがき補助 ・ 防災体制
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、行政、ボランティア
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動、自治の参加
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラ整備
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全安心な街づくり

C :

1	提案タイトル	安心して暮らせる地域づくり
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き巣や窃盗が減少（交通事故防止）
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防犯グループの結成 ・ 登下校時の見守り
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見知らぬ人、怪しい人物へ声掛けをし、地域の犯罪抑止力を高める
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会 ・ 自主結成グループ
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で地域の安全を守る意識で自宅周辺にて実施。 ・ 老人クラブ等高齢者の協力。
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の提供 ・ パトロール車による巡回
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主グループ、自治会等への犯罪事故情報をメール便などで速やかに送付し、犯罪防止に役立て、対策を講じる。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちぐるみで防犯意識を持つことにより、犯罪が行いにくい環境ができる。

C :

1	提案タイトル	地域に組織されている 自主防災会 129 団体・婦人消防クラブ 86 団体の活動啓発
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い街・安全安心して暮らすことのできる街構築のため 各地域の被災現場で学んだのは 「巨大なものはもろい/やっていないことはできない/自分でできることは自分です」ということから自助・共助の啓発
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自主防災会・婦人消防クラブが足並みを揃えて活動を行う ・ 年間事業計画の立案・組織及び予算計画等仕組みづくり ・ 行政(消防本部)・あいち防災リーダー会の支援により育成 ・ 消火訓練・DIG(図上訓練)による避難訓練・水防訓練 ・ 災害弱者支援体制づくり等

C :

1	提案タイトル	犯罪多発都市小牧市の汚名返上
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県で最も犯罪多発都市の一つが小牧市です。 ・ 犯罪のない、犯罪の出来ない小牧市をつくる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市全域に防犯カメラ網の設置 初めは、小牧市に出入りする高速道路、主要道路の出入口に防犯カメラを設置する。 各区の主要道路に防犯カメラを設置する。 各団地に防犯カメラを設置する。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年目は小牧市に出入りする高速道路に防犯カメラを設置する。 ・ 2年目は各区の主要道路毎に防犯カメラを設置する。 ・ 3年目以降は3年計画で、各団地に防犯カメラを設置する。 本気で小牧市の犯罪を減らそうと思うならば、この方法しかない。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアによる市内パトロールを実施しているところがあるが、常に広い範囲を実施しなければ効果は期待できない。
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市に依頼するところ大 ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市で発生する犯罪が大幅に減少する。

C :

1	提案タイトル	<安全で安心なまちづくりの最低条件 危険な通学路(県道)にボタン式信号機の100%設置
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ かけがえのない子供の命を守る為に。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路で横断歩道のみで毎朝、親が整理している箇所を総点検。 <事例>3人の死亡事故が発生して漸くボタン式信号機が設置された。これが安全安心なまちづくりの実態とは・・・
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の手による特別委員会(交通環境改善委員会)を設置 ・ 全市の実態調査(区長会連携)、設置場所の決定 ・ 県の責任、権限、予算を市に移行 ・ 予算化(県からは補助金方式に変更)
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市建設部道路課、小牧市警察署、各小学校校長、各区長 ・ 小牧市教育委員会(小学校)、生活課(区長会)、区長会(125人)
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題箇所の点検、市への提起、ボランティアによるサポート
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、警察署との即時交渉。問題解決の為にしくみ、役割、権限、責任の改革
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常的には協議会の設置。個別には関係者によるプロジェクトチームの設置
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全市の危険な信号機のない県道・通学路にボタン式信号機の設置完了

C :

1	提案タイトル	行政の少数精鋭化と地区機能の充実と連携
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化にともない、財力が低下してくる。 ・ 地方の自立
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の義務と責任の明確化 ・ 行政の少数精鋭集団化 ・ 施設の複合化 ・ 市民行政共創 ・ 新コミュニティ実施（イベント、祭り、研究会、遊び隊）
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、市民、企業、大学
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務と責任
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少数精鋭集団
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のコーディネーション
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政が維持される ・ 地域が活性化

C :

1	提案タイトル	全市 125 区の格差のない活性化
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 局部的にイベントなどが実施されており 125 区全部の活性化を公平に行なう。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、毎年行われている「夏祭り」「小牧市民まつり」は、4年に1回とし、年1億円の予算の80%(20%は経費削減)を125区に分割配布し、区毎、又はブロック毎に実行委員会を立ち上げ行事を企画実行する。 ・ 更に、全事業の費用対効果を検証し死金を撲滅し、予算を転換充当する。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長、子供会、市民(小学生、中学生、高校、大学生)を中心とした実行委員会を組織する。 ・ 行事の開催要項を練る。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長又はブロック区長会長、3 あい事業委員会委員長、各小学校校長、中学校長 ・ 小牧市教育委員会(小、中学校)、市民部生活課(区長会)、商工会議所支部
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の役割を担う、NPO、ボランティアによるサポート
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポート
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常的には協議会の設置。個別には関係者によるプロジェクトチームの設置
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定地域ではなく全市の活性化実現。小牧市民まつり費用の20%削減を恵まれない人への福祉に振り向ける事により格差解消の一助になる。

C :

1	提案タイトル	町内会の活用
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の会長、役員任期は一年制であり、選出も順番制のため、従来から引き継いだ運動会、夏祭りを実施すれば責任は終了したと思われる。 町内会の会則が不十分であり、活動方針や会計処理が確立されておらず住民の意見、提案が反映できない組織となっている。 先ず町内会の立て直しから始めるべきである。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全で環境を守り住み良い街を創る為には生活する地域の住民が顔を合わせ、知り合い、話し合う町内会が必要である。 自分達の地域は自分達で守ると言う意識が全く欠如している。 広報配布費、緑道清掃費、公園清掃費、清掃委託費等の市の助成金の使途が不明瞭であり、有効活用されているか行政のチェック体制の確立。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 時間的に余裕のある住民を募り町内会の一部に常置組織として活動委員会を設置する。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 町内会、行政担当課
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 無理の無い活動から始める。 町内会活動の啓蒙、指導。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 行政
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士の意思の疎通ができ、町内会の重要性の認識。

C :

1	提案タイトル	地域のリーダーであります 区長制度の見直し
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 地域力の活性化をはかり、安全・安心と環境を守るまちづくりにいま必要なのは地域リーダーとして人徳とやる気のある人材を発掘して区長に登用すべきだ。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 選出基準の見直し 区規模に格差がある合区・分区を指導 待遇面を改善 責任・義務・権限の三面等価を明確化 地区会長の選出方法を見直す

C :

1	提案タイトル	元気な高齢者、退職者の活用
2	目的 (何のために)	・ 地域行政の手助けに活用する。
3	内容 (どんなことを)	・ 地域の防犯防災の巡視、学童の安全指導、高齢者の手助け等。 ・ 自分の身も守れない高齢者の協力はやめるべきである。
4	実施の方法 (どのように)	・ 一定期間の教育、講習の実施 ・ 身体能力、面接の上委託する
5	実施主体 ・ 参画団体	・ 行政、計察
6	市民の役割 ・ 行政の役割	・ 業務の報告の義務 ・ 報告書による懇談会の実施
7	連携方法	・ 学校、行政、警察
8	期待される 成果	・ 実のある市民活用

C :

1	提案タイトル	あいさつのある明るいまちづくり
2	目的 (何のために)	・ あいさつのとびかう街にすることで、地域づきあい、異文化交流、世代交流をはかる。 ・ あいさつによるコミュニケーションをとることで、安全安心な生活(防犯等、日常生活での安心、安全、みんなで支え合う福祉環境づくり等)をつくる。
3	内容	・ 学校、地域、企業等、市全体の組織をまき込んだあいさつ運動の展開
8	期待される 成果	・ あいさつによるコミュニケーションをはかることで地域の活性化の基礎部分をつくる。

C :

1	提案タイトル	議員定数の減少
2	目的	・
3	内容	

C :

1	提案タイトル	ごみの無いきれいなまち
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイ捨て、不法投棄の防止 ・ 住んでいるまちを誇れる。 ・ 気持ちよく生活する。 ・ 害鳥獣の予防
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃（ごみ拾い、除草） ・ ごみ出しの徹底 ・ 児童、生徒の教育
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体、企業の協力による一斉清掃（月1回実施） ・ ごみ出し方法の再検討（特に外国人に対し） ・ 子どもによるポイ捨ても少なくないため学校での指導も強化
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体、市内企業、市民グループ、市民
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃するのは捨ててあるゴミであること。自分達が生活する場所を汚さない意識で活動
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃道具の永久貸与 ・ ごみステーションの設置
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内にごみステーションを設けることによる不法投棄の削減 ・ ごみの無い街並にするため自治会、企業との速やかな清掃
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の努力、意識改善によるきれいなまち

C :

1	提案タイトル	ごみのないきれいな街
2	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別が進んでいる反面、あいかわらずポイ捨てによるゴミが目立つ。地域が一体となって美化活動の推進を図る。
3	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達も含め地域が一体となって自分の住む地域の美化活動を行い、地域に愛着を持ってもらうとともに、地域内交流を図る。
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとで自主活動
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ P R ・ 市全体での行事企画、実施
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内の美化 ・ 地域内交流、世代間交流 ・ ゴミの分別の知識 ・ 子どもの育成 など

C :

1	提案タイトル	地域発電（エネルギーの自給力）
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギーの自給も上げる。 ・ 地域温暖化と大量生産消費社会と人口増大によって、資源の枯渇化しているため。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品再利用（ごみ）のエネルギーシステム構築 ・ 新エネルギーの活用と省エネ・省ゴミ・非電化製品の普及
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオエネルギーの活用（里山の地域で実施） ・ ゴミ処理の熱の活用で、健康施設の整備（その地域のエネルギー活用） ・ 新エネルギーの活用の推進とインフラ整備 ・ 省エネ・省ゴミ・非電化製品活用の推進と補助
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、農家、市民 ・ ボランティア、市民団体
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にやさしい商品の利用、ゴミの分別強化
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラ整備
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のコーディネーション
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の収入UP ・ ゴミ処理向上

C :

1	提案タイトル	農業の活性化（食の自給力）	
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化によって、気象が変化したり災害が多発したりして食糧の生産が低下しているため、将来輸入品には頼れない。 ・ 特に日本は自給率40%（米に関して）それ以外はもっと低い。 ・ 食糧危機で家畜のえさまで量がないので今後は穀物主体に転換するのではないか。ひいては、和食中心になり健康的にもなる。 ・ 以上のことから農業を活性化しなければならない。 	
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の保全と里山の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の活性化 ・ まちの農業化 ・ 海外への輸出 ・ 企業の参入
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全地域の指定化 ・ 循環社会をつくる ・ 里山文化活性（炭作り、わら、竹工芸） ・ 伝統工芸普及センターで人材育成と販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲作の活性化 ・ 研修センターや大学誘致 ・ 農業のブランド品作り ・ 学校給食、施設給食の米飯化 ・ まちの市民農園と家庭菜園の普及
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家、学校、企業 ・ ボランティア団体 	
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の普及の手伝いと参加 	
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム作り、条例作り、運営 	
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政のコーディネーション 	
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害防止にもなる ・ 緑が多くなって環境もよくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食の自給率UPと市民の健康促進 ・ 田んぼの保水力で災害防止 ・ 人口拡大

C :

1	提案タイトル	農地再生で食糧自給率(現在 39%)を高める。
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> かつて、裏作で小麦、大麦又は菜種を作っていた田んぼが今や 1 年の半分は休眠、遊休地化し、なんの価値も生み出していない。 関係者の知恵で裏作プロジェクトを立ち上げ食糧自給率を高めると同時に自然環境の改善を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 裏作可能メニューを専門家で検討する。(例:スナックえんどう) 観光農業の視点も!(国道 41 号線の両脇 10K が菜種の花) 農家の団塊世代 + 行政 + J A + 区長会
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧全域の実態調査(休耕田 + 裏作無作面積など) 関係機関で協議(学校の教材としても) 耕作者(委託)の公開募集 作付け指導 収穫祭
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市農政課、尾張農業協同組合 小牧市教育委員会(小、中学校)、市民部生活課(区長会)
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 作る喜び、働く喜びを子供に伝承し、人づくりに繋がることを自覚し、積極的に参画する。 N P O、ボランティアによるサポート 制度設計、普及啓発、企画実行のマネジメント
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 恒常的には協議会の設置 個別には関係者によるプロジェクトチームの設置
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 食糧自給率の向上(地産地消) 人づくり(働く喜び、収穫の喜び)への貢献 地域交流の効果

C :

1	提案タイトル	農業の活性化
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の有効活用により、食糧自給率向上 ・ 農業従事者の若返り（オペレーター高齢化対策） ・ 農地の草生え防止 ・ 地主・農地の有料化
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米・麦・野菜等作物の多様化（農地100%活用） ・ 農地の賃貸料有料化...現在、改良区 3,500 円、愛知用水 5,300 円（年間）固定資産税等 1 反（10アール）当り約年間 1 万円放出している。 ・ 農協は金融商品扱いが現状（ほとんどの農機具は業者、休日休みで指導なし）本来の農協に返る。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の法人化（会社創設）
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政助成（農機械の助成） ・ J A の指導
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の放置防止（100%活用） ・ 地主対策 ・ 失業対策

< D グループ > グループテーマ：文化・芸術の薫るまちづくり

D :

1	提案タイトル	小牧独自の(小牧らしい)文化芸術イベントの検討
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、小牧市では平成夏祭り(ねぶた)、小牧七夕まつり、小牧市民祭り(三英傑)などがあるが、いずれも小牧独自のものではない。 ・ 歴史これらを支援することにより、文化芸術団体の育成を図る。 ・ 小牧のシンボリック的存在である小牧山や小牧の自然をテーマにしたイベント、外国人にスポットを当てたイベント、他の都市では行われていない独自のイベントなどを模索し、市民の文化芸術に対する意識向上を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市、文化芸術団体、住民による検討会を実施する。 ・ 市民に対してイベントに関する提案募集をする。 ・ 現在市内で行われている(埋もれた)イベントの洗い出しをする。

D :

1	提案タイトル	文化事業は活発であるが、PR不足で十分理解されていない
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人と緑かがやく創造のまちを実現するため(自己実現の欲求をフォローする)。 ・ 自然を活かすため。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市型緑地公園を作り、その中に文化、芸術活動の場もつくる。 ・ 人と緑、かがやく創造のまちを実現するためモデル地区を作る。 ・ 老人から子どもまで楽しめる空間を作る。 ・ 障害者にもやさしい施設を作る。 ・ 喫茶、食事もできる場所(駐車場が近くまで寄せられる事)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春日井市等にすでに実施されているので、参考にしてさらに良いものを作る。 ・ それを小牧市の目玉として近郊の人が集まるようにする。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯教育として、始めた各団体を参加させる。(自主的に)
6	市民の役割 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体が自主的に参加し、ある程度維持管理も自主的にやる。 ・ 人件費が負担にならぬよう、民間の力を利用する。リーダー的に指導する。(広報を利用した活動等)
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に市民、行政が参加し、お互いに意見を出し合い、常に最善を目指すようにする。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人と緑、かがやく創造のまちの実現の第一歩

D :

1	提案タイトル	方向が定まっていない(やりっぱなし)
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術のサークルが一杯あるが、育成しようとしていない。(自然に消えてしまった団体もあると聞く) (何度も広報等でPRした)
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術団体の支援(ある程度安定するまでは、行政もある程度フォローすべきである。全くフォローがないため、自然に立ち消えるところであった。)
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 施設利用における減免制度(もしあるのなら、知らせてほしい。市民活動センターでも教えてくれなかった)
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 現代植物画趣味の会(生涯教育として市から立ち上げ)
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> 文化の推進として、お互いに高める。
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を出す。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 市民、金の管理をしっかりとやる。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 人員の増加。

D :

1	提案タイトル	小牧山の歴史シンポジウム
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧のシンボルである小牧山の歴史的発掘と「小牧長久手の戦い」を徹底研究する。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい講演会・講談・落語 映画の誘致

D :

1	提案タイトル	文化財めぐりウォーキング大会
2	目的 (何のために)	・ 小牧山をはじめ市内の史跡・文化財の周知を図る機会とする。
3	内容 (どんなことを)	・ 小牧山を起点に複数のコースを設定して実施する。
4	実施の方法 (どのように)	・
5	実施主体 ・ 参画団体	・ ガイドボランティア
8	期待される 成果	・ ウォーキングと組み合わせることで、多くの参加が見込める。

D :

1	提案タイトル	小牧の文化を訪ねる巡回バスツアー
2	目的 (何のために)	・ 市内外の人たちに、小牧山、メナード美術館、あるいは、愛知カシオや三菱名誘などの先端企業を見学してもらうことで、小牧の文化を知ってもらう。
3	内容 (どんなことを)	・ 巡回バスを利用した文化財めぐりなど。 (長続きする事業になるか、収支見込等の問題あり)
4	実施の方法 (どのように)	・ 小牧の文化をよく知る者がガイドする。 ・ マスコミ、旅行社へのPR。

D :

1	提案タイトル	史跡・文化財 史跡・文化財など文化振興政策の強化推進
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡・文化財など歴史文化等文化振興策として ・ 市内文化財の観光Pとルート化 ・ 文化財は広域に点在、ルート化することによって身近な存在感が発生し、市内外からの散策観光客が増加し、街が活性化する
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内環状巡回バス路線に組み込む運行をする ・ 史跡・文化財など歴史文化マップ再編 ・ 芸術文化フォーラムと絡ませたサークルの組成（現状でも種々整備されているが、主役がいない。活かさきれていない。）
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環状巡回バスを運行する ・ 一目 4本程度 ・ 文化財マップの充実化(例:岸田家とは・・・)
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市、教育委員会、文化振興課 ・ 小牧市観光協会
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ ・
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内外から史跡、文化財の見学者が押し寄せ、街の魅力が再発見される ・ 心豊かな人材が多くなる

D :

1	提案タイトル	自然及び歴史的な遺物・史跡の活用
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市でないと生かされない自然及び歴史を文化的遺産として伝承したい。(お宝物)
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境保全と活用 ・ 古代神字 ・ 小牧山、岩崎山、大山地域 ・ 白玉星草等の鑑賞 ・ 陸のホタルヒメボタル ・ 古代神字遺跡
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習会を深め、市民に理解させること ・ 他の地域との交流を深める
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動団体 (施設につき行政の参画)
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察会等を行う
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設保全管理
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動団体と行政が常に交流を深めること
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市でないと味わえない夢のあるまちづくりができる

D :

1	提案タイトル	文化芸術の振興状況検討会議の実施
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">文化芸術の振興は、全てのまちづくりの中核であり、ベースである。特に、「文化都市(第3次・4次総合計画)」「かがやく創造のまち(第5次総合計画)」を掲げる小牧市にとって、現在の文化芸術の振興度合い(現在の位置を確認することは、第6次総合計画の策定に不可欠の事項であると考えられる。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">市、市民、有識者による検討会議の実施

D :

1	提案タイトル	文化・芸術団体を支援する仕組みの構築
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">小牧市には数多くの文化芸術団体が存在しているが、新会員の募集やイベント・作品展の告知などに関して、十分な手段や経費を有しないのが現状である。また、文化芸術団体間の連携も十分でない。これらを支援することにより、文化芸術団体の育成を図り地域の文化芸術の振興を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">市と文化団体との話し合いの場設定。手軽に告知に支援を受けられる仕組みを構築する。

D :

1	提案タイトル	名古屋造形芸術大学との連携(協働)
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧には、名古屋造形芸術大学があるが、立地やスクールバスのルートが春日井駅であることなどにより、小牧市や市内の文化芸術団体との交流はあまりないのが現状である。 ・ (バンブーインスタレーションへの一部学生・市民病院との協働)小牧市や文化芸術団体と同校の交流や連携を深め、種々の活動を通じて、小牧市の文化芸術の振興や大学における教育の充実や研究機会の提供をなどに役立てる。また、その経験を活かし、愛知文教大学との連携も深める。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民ギャラリーなどを利用し、「造形芸術大学作品展」「造形大学卒業作品展」などを定期的開催する。 ・ 造形大学の学生を対象としたコンペ(「小牧市市長大賞」を目指した作品展)を実施する。 ・ 造形大学学生に、芸術振興に関するテーマでアイデアを募集し、優秀作品の実施を支援する。 ・ 大学における研究のテーマ、研究の場などの機会を協働を通じて提供する。

D :

1	提案タイトル	メナード美術館との連携(協働)
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな時から、優れた美術作品を鑑賞したり、美術作品の解説を聞いたりすることは、学生の文化芸術に対する感性を高め、将来にわたり小牧の文化芸術の一助になると考えられる。 ・ メナード美術館に協力を依頼し、中高校生が美術品に接する機会の増加を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高校生を対象にした、(安価な)メナード美術館年間パスポートを発行する。 ・ 学芸員による中学・高校の美術部員を対象とした勉強会を実施する。

D :

1	提案タイトル	真の文化薫るまちを目指して
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市内には、優れた企業が数多くあります。そうした産業を支える目的に多くの外国人がいます。将来的にそうした方と協力し共生することは、まちの発展の為に非常に大切です。そうした目的達成の為に、まずは市民を中心とした多文化共生を目的としたイベント交流事業(お祭り)を開催します。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 市内歴史施設を利用し、外国人を交えたイベント交流会事業の開催
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 行政・市民・企業さらには、国籍を問わない多くの方が協力し意見を交えイベント交流事業を企画の段階から練り上げ事業を完成する。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 行政・市民団体・企業・外国人を交えまちづくり委員会の設置
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none">
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none">
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none">
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none">

D :

1	提案タイトル	小牧の素晴らしさを伝えよう!
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧には多くの史跡や文化財が今尚、数多く残っています。 ・ また、最先端の技術を持った大企業や、地域に根ざした優れた中小企業も数多くあります。 ・ 一方、市民活動として、ボランティア団体も数多くあり、それぞれの地域や目的に対して積極的に活動されています。 ・ 小牧のまちはそうした歴史や自然、そして優れた産業を兼ね備えた素晴らしいまちです。 ・ そうした小牧の素晴らしさを、小牧に住む大人たちによって、将来の小牧のまちを担う子供たちに積極的に伝える事により、大人と子供、多くの市民がまちの素晴らしさを大切にして、将来にわたり文化・芸術の薫るまちづくりの一助の事業とします。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小牧市内の歴史や自然、更には最先端の産業・技術など、小牧の素晴らしさについて、多くの市民団体や企業の協力により、市内や近隣の小牧の子供たちを対象に、見学ルートを作成します。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学ルートの作成(循環バスや、ピーチバス等を利用して市民団体や企業の案内のもとに、小牧の素晴らしさを見てもらう。)
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政・市民団体・企業 ・ コーディネーターとして、市民ネットワーク等が考えられる。
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民団体による、史跡・文化財の案内や解説 ・ 最先端の技術を持った大企業や、地域に根ざした優れた中小企業の会社見学。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の小中高等学校へのPRや近隣市町へのPR
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> ・
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの子供たちが、小牧の素晴らしい歴史や文化を大切にして、将来にわたり愛し親しみを感じる事により、小牧に住む(携わる)人となる事が期待できる。

D :

1	提案タイトル	新しい図書館について考えよう！
2	目的 (何のために)	・ 21世紀のネット社会での図書館の価値を再認識するため、「大きな貸本屋」ではなく、「文化の守護神」として存続してほしい。 (築30年で老朽化、建設資金10億円積み立て済)
3	内容 (どんなことを)	・ 利用者の視点に立ち、使いやすい図書館とは何か(内部スペース、運用システム等)を検討する。 参考：岡崎市図書館交流プラザ(H20.11オープン)
4	実施の方法 (どのように)	・ 公募市民による(1年間ほどの)研究会を行い、市への提案をまとめる。

D :

1	提案タイトル	多文化共生に対する意識が低い
2	目的 (何のために)	・ 多民族(ブラジル人、ペルー人、中国人等)も一緒に楽しめる施設をつくる。
3	内容 (どんなことを)	・ とりあえず、多数の人数の多い順に集まり、その国で一番やりたいことをやってもらい、我々日本人も参加するようにする。(多文化とのふれあい)その都度集まり決定する。
4	実施の方法 (どのように)	・ 都市型緑地公園内にそのようなグループを収容し、出稼ぎだけではなく、日本での良いふれあいの場を設ける。 ・ ブラジルの日、ペルーの日、中国の日等を作る。
5	実施主体 ・ 参画団体	・ 各国
6	市民の役割	・ 日本人スタッフが最初はまとめる。
	行政の役割	・ 助成金を出す。
7	連携方法	・ 行政、市民、他外国人等の協力を仰ぐ。
8	期待される 成果	・ 多文化共生の意識が高まる。(島国根性が直る)

D :

1	提案タイトル	外国人による料理教室
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">外国人と日本人が交流する機会を設けることで、相互の理解を深める。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">市内在住の外国人を講師として、各市民センター等の料理教室を会場に開催する。

D :

1	提案タイトル	多文化共生セミナー・研究会の実施
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">自治体の多文化共生施策の重要な課題の一つとして、日本人住民への啓発などを行い、地域社会の意識改革を行う必要がある。そのために、外国人居住率の高い地区の区長や住民、外国人労働者の多い企業を対象としたセミナーや研究会を行う。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">市の担当部門、外国人居住率の高い地区の区長や住民、外国人を多く雇用する企業の担当者を対象としたセミナーを実施する。市の担当部門、外国人居住率の高い地区の区長や住民、外国人を多く雇用する企業の担当者を対象とした研究会・勉強会を実施する。

D :

1	提案タイトル	外国人も含めた住みよい暮らしの実現
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人に小牧のルール、習慣を知ってもらい、守ってもらうとともに、ゴミの分別の仕方などについて小牧市民に対する再啓発を兼ねることで、住環境を改善する。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 地域に住む外国人の連絡組織の構築（外国人にコミュニティ意識を持たせるため） 市も含めた3者による集会を行い、マナーや言語を学ぶ。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 実際にゴミ集積場所を見学するなどして、分別を理解する。 いわゆる町内会の必要性（災害時の対応）、役割を確認する。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> 地元区、地元の外国人コミュニティ、K I A、市
6	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> 各種ルールの整理と徹底
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 通訳の派遣、翻訳、小牧での生活の初歩の解説（集合住宅のマナー、地震発生時の対応、健康保険・・・）
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 外国人を含む地区運営協議会の設立
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 日本人、外国人双方の市民意識の改善

D :

1	提案タイトル	ネットワークの設定(小牧在住外国人のサポート)
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市在住外国人が小牧市民と共存し、安心して住めることができ、犯罪のない小牧市をつくる。 不法滞在外国人を一掃し、健全な小牧市をつくる。(犯罪防止対策)
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none"> 区毎に外国人代表者、小牧市民アドバイザーを置く 小牧市役所に外国人救済センターを設置する 各区に住んでいる外国人が抱えている悩み、困っていること、問題点等を集約し、問題解決する為、アドバイスをし、市役所外国人救済センターに相談し解決を図る。(日本語教室等を含む) 小牧市にある大、中、小企業に行政指導をして、不法滞在外国人を採用就労させない様な体制づくりをする。
4	実施の方法 (どのように)	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市役所は区毎の在住外国人のリストを作成し、各区長、外国人代表者、市民アドバイザーに送付する。 各区から出された問題点を1ヶ月毎に集約し、問題点の分析を行い小牧市の行政に反映させる。
5	実施主体 ・ 参画団体	<ul style="list-style-type: none"> K I A 及び加入メンバー、各語学サークル、ワイアンドット加入メンバー、関心のある人等から募る。
6	市民の役割 ・ 行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市が実施している外国人救済活動、及び救済ネットワークの存在について理解することが第一である。(共存の為のスタート) 毎月集約された問題点の分析結果を基に、目に見えるかたちで、問題解決を行政に反映する。
7	連携方法	<ul style="list-style-type: none"> 市民アドバイザー及び区長は集約した問題点について、E-Mail 又はレポートを市役所に提出し、連帯を図る。
8	期待される 成果	<ul style="list-style-type: none"> 小牧市民と在住外国人との間にあるさまざまな問題点、誤解等が少しずつ解消され、外国人にとって、安心して住める小牧市を実感してもらえるようになれば犯罪予防にもなる。 <p>(はじめから 100 点満点は望めない。20 点を目標にできるところ、できることから始めることが肝要)</p>

D :

1	提案タイトル	区長セミナー・区長研究会の実施
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 地域文化の振興を図り、多文化共生社会を形成するためには、自治力の向上が不可欠であると考えられる。時代の変化に対応した区長制度の再構築と、区長の質的向上を図る。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・ 市、区長、住民、有識者によるセミナー・研究会を実施する。・ 新たな区長制度の構築。・ これらを支援することにより、文化芸術団体の育成を図る。

D :

1	提案タイトル	地域デビューを支援する仕組みづくり
2	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none">・ 地域には、さまざまな分野で活躍され、優れた知識や技能を有する人がたくさん住んでいるが、地域の人々との交流があまりない人達も多い。・ これらの人達が、地域との関わりを持つことは、本人のみならず、地域文化の推進や、文化芸術団体の充実などに大きく貢献すると考えられる。・ 今まで、地域とあまり関わりを持たない人たちの地域デビューを支援する仕組みを構築する。
3	内容 (どんなことを)	<ul style="list-style-type: none">・ 定年前後の人など、地域デビューをしたいと思う人を対象にしたセミナー(講演会)を開催する。・ 地域デビューをしたいと思う人を対象にした、市民活動ネットワークに登録した団体や地域の文化芸術団体などを紹介する交流会を開催する。